

富田守男 「現場」からの風

6月初旬、松本キッセイ文化ホールで松本信用金庫・信寿会が年金を松本信用金庫で受け取っている方を対象に企画した「ふれあいコンサート」笑って泣け

る人情芝居、爆笑&絶品の歌謡ステージ、超豪華絢爛な舞踊絵巻」を鑑賞する。

2012年に旗揚げした梅沢富美男劇団による、華麗で笑えて大満足の芝居と歌謡ショー。第1部は、泣いて笑って

また笑う、人情あふれる

大衆演劇の世界を楽しむ

う)。歌謡

る明朝時代劇「故郷の錦絵」。第2部は、梅沢富美男とゲストの研ナオコが、歌で競演。たっぷり聴かせる「歌謡ステージ」。そして第3部が、梅沢富美男の真骨頂「華の舞踊絵巻バラエティショー」。時代劇、歌謡ステージ、

バラエティありと、150分の久しぶりの大衆演劇を堪能できた。大衆演劇の世界には、専門知識が存在する。予定外のセリフや小芝居。共演者の大セリフ忘れなどの不測の事態をフォローする

幕間に行われる来場感の挨拶「口上(こうじょう)」。きわめて早く衣装を着替える演出の「早や替わり」。舞台上に登場したときや見栄を切った時、決め台詞が出た時にタイムミン



松本駅お城口より無料シャトルバスが行き帰り運行。高齢者観客への対応が好評だ。

ト」や近年のテレビのバラエティ番組やワイドショーで活躍する歯に衣着せぬ毒舌トークと曲がったことを嫌う頑固オヤジキャラが定着しているのだが、梅沢富美男が舞台に出る

だけで観客は笑い始める、何か面白いことをやるのを期待してしまいがち。会場全体が笑いの渦に包まれる幸せを感じることができた。しかし毎年信寿会が実施した「ふれあい親睦の旅」が隔年で開催する事を残念に思う人も多かった。それだけ親睦の旅が充実していたのだからと伝わってきた。来年の親睦の旅の順番に向けて楽しみにするのだろう。コンサート会場で観客対応した松本信用金庫のスタッフの皆さんに感謝だ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)